

族譜 (1978)

族譜

メディア 映画

ジャンル

製作国 韓国

公開情報 劇場未公開・NHK教育で放映

【解説】

韓国現代史により添う形で、エネルギーに、社会的テーマを持った娯楽性を量産してきたイム・グォンテク（林権澤）が、日本の異能の大衆作家＝梶山季之の純文学作品を映画化したもの。日帝時代、創氏改名の手続きを行う若い日本人の役人（河明中）が、薛（ソル）一族が地主である地域に赴き、頭首の気高い人格と、その娘の美しさに惹かれ、朝鮮人の「族譜」に対する思いに気づかされるが、彼の立場では頭首を説得する他ない。頑なに改名を拒んでいた頭首も家族を想って、最後には了承するが、それは彼の死をも意味することだった。林作品としても最もメッセージ性の強い映画で、頭首の朱善泰の抱擁力ある演技は特筆に価する。

【クレジット】

監督 イム・グォンテク Im Kwon Taek

出演 朱善泰

河明中